

# 町区集落实態調査まとめ

子どもたちが夢を持てるまちに  
帰ってきたくなるようなまちづくり

## Uターンしてもらうために

- ・ふるさと教育を充実させ、地域愛の醸成につなげる
- ・地域の魅力をPRして帰ってきたいと思える町区にする
- ・友達や同級生の意見交換の場をつくる（現状報告会）

## Iターンを呼び込むために

- ・全国から飯南高校へ生徒を呼び込む
- ・ホストファミリー制度を活用
- ・介護施設の職員として外国人人材を受け入れる

## 10年後の理想像

- ・Uターン、Iターンの人が増える
- ・働く場が増える
- ・人を呼び込める娯楽施設ができる
- ・新産業ができてい（特産品）
- ・子供が安心安全に暮らせるまち
- ・挨拶が飛び交うまち
- ・子育て環境の充実
- ・跡継ぎが戻ってきたくなる地域
- ・教育の充実
- ・元気なお年寄りが多いまち
- ・町区の組を統合
- ・個人商店やスーパーが残っている

## 子どもが安心安全に暮らせるために

- ・登下校時にあいさつをする（声かけ）
- ・飯南高校へ来る県外者の受け入れ（ファミリーサポート）
- ・外灯を増やして夜道を明るく
- ・家の前の除雪を隣近所で協力して取り組む
- ・子どもの遊び場を大人がつくってあげる



便利  
暮らし  
やすい

近くにあるもの

- 飯南病院
- エルシィ（スーパー）
- 頓原基幹支所
- 銀行（ATM）
- 郵便局
- 図書館、公民館
- 小学校、中学校



町外から呼び込む



## 多世代での交流をするために

- ・子どもの大会等の日程を公民館だより等を活用して情報共有
- ・集いの場をつくる
- ・おもしろいイベントを企画する
- ・子どものためのふるさと教育

公民館と連携

公民館・集落支援員と連携



交流拠点  
交流センターとんぼら

## 安心して暮らすために

- ・困りごとを相談できる窓口
- ・生活課題を解決してくれる組織をつくる

## 町区を盛り上げるために

- ・特産品を開発
- ・スキー、自転車など既存の取組みを拡充する
- ・鳥獣を活用してサファリパーク
- ・商店街をグルメ街にする！
- ・しめ縄ブームを広げる
- ・ラムネ銀泉を活かして盛り上げる
- ・まずは地元の歴史などを知る
- ・一福に来た町外の方に寄り道してもらえるように仕掛けをつくる
- ・地元商店街で意識して買い物をする
- ・タピオカスイーツをつくり、タピオカの原料を飯南町で作る
- ・オートキャンプ場をつくる
- ・登山客を呼び込みお金を落としてもらう



## すぐにできそうなこと

### (1年以内)

- ・もっと地元で買い物をする
- ・地元のことを知る
- ・町の良い所をアピールする（情報発信）
- ・処 枋ミルケーに次ぐ処 枋スイーツを作って
- ・処 枋の材料を飯南で作る
- ・特産品の開発

### (1年位～)

- ・定期的にイベント事業を開催（年1回大きなもの含む）をすれば良い
- ・年間を通した自然の活用
- ・Uターン者との交流の場
- ・スポ少の大会日程等を告知してほしい
- ・子どもの遊び場を自分たちでつくる
- ・異世代が集まる場所を作る
- ・個人の困り事を集約して解決する組織を作る
- ・家の前で一斉（定時）ストレッチの復活
- ・あいさつが飛び交うまち
- ・目的地になるまちに（観光レジャー）
- ・地区の再編成

### (2年位～)

- ・大しめ縄館の活用
- ・お試イベントをたくさんやって見込みがあるものを広げる

### (3年位～)

- ・高齢者の下宿事業への助け
- ・全国から高校生を呼び込めるような地域にする
- ・Uターン者が居住できる空き家を整備
- ・子どものセミナーパーク
- ・除雪の相互助け合いの仕組みづくり

## 時間がかかること

### (4年位～)

- ・里親制度で高校生の受け入れ
- ・外国人受け入れ下宿の整備
- ・下宿制度の充実
- ・同級生の意見交換の場をつくる
- ・現在の状況報告、町の良さ、伝える

### (5年位～)

- ・若い人へ早くバトンを渡す（担い手の育成）
- ・行事を継続させる（無くさない）
- ・楽しさを味わってもらいながら担い手を育てる
- ・子どもたちの夢が持てるまちに
- ・お試しで短期田舎生活体験
- ・ホームステイ、ワーキングホリデー

### (7年位～)

- ・日本・世界にしめ縄ゲームを起こす
- ・高校に特色ある部活や科をつくる

### (10年位～)

- ・炭酸温泉を生かして温泉街をつくる
- ・グルメ街・商店街をつくる（活性化）
- ・サファリパーク
- ・飯南米のブランド化